

新規就農先輩の軌跡 No.94

<p>新規就農者の素顔</p>  <p>氏名：小川勝之 住所：明石市大久保町 年齢：49歳（S42.8.23） 就農地：稲美町</p>	<p>農業経営の状況（現在）</p> <p>農地：10ha（主として期間借地） 施設：育苗ハウス360㎡、倉庫360㎡ 経営内容：キャベツ10ha 労働力：本人、雇用7名 出荷先：JA</p>  <p>キャベツの出荷箱を運搬する様子</p>
<p>就農から現在まで</p> <p>H23年3月 会社を離職 H23年4月～約1年間 神戸市西区のキャベツ農家で実務研修 （新規就農離陸加速モデル推進事業（当時））、 その他にJA兵庫南でもアルバイトをかねて 研修を経験 H24年3月 稲美町で就農 就農当初は、キャベツ30aの栽培面積から始ま ったが、その後、年々規模拡大を進め、現在は 10haのキャベツ栽培を行っている。</p>	<p>就農で良かった点、苦労した点</p> <p>○良かった点 農業の収入で生活が出来るようになった こと。</p> <p>○苦労した点 苦労したことは、農地を借りることにつき る。 今でもそこが一番気を遣う。</p>
<p>農業をめざした動機</p> <p>職業の選択の一つとして農業があり、取り組み を始めた。 特に約1年間の実務研修等を受けながら、色々 と農業について調べ、生活の糧として成り立つ仕 事であると判断出来たため、就農することを決意 した。</p>	<p>後輩へ贈る言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> • 農業は“自然と共に”というような甘い世 界ではない。 • 農業は自営業であるので、全て自己責任で あることを理解して欲しい。 • 就農に限らず“業”を始めるには、1年～ 1年半の間無収入でも生活できるような 蓄えが必要である。 • とにかく、農業の現場へ出て、作業をする ことから全てが始まる。